I·O DATA

ファイル復旧ソフト

Data Salvager 3.0

データサルベージャー 3.0

取扱説明書

M-MANU200474-01

もくじ

DataSalvager とは？ …… 1
必ずお守りください …… 3

お使いになる前に …… *5*
箱の中には …… 6
動作環境 …… 7
対応デバイス …… 8
ご使用上の注意 …… 9

使ってみよう …… *11*
起動する …… 12
インストールしないで起動する …… 13
インストールして起動する …… 15
検索・回収する …… 20
簡単ファイル検索 …… 22
マニュアル検索≪スキャン≫ …… 28
マニュアル検索≪既存ファイルシステム解析≫ …… 35
終了する …… 40

ふろく …… *41*
ツールバーについて …… 42
設定について …… 43
DataSalvager の削除 …… 46
困ったときには …… 47

お問い合わせ …… 49

DataSalvager（データサルベージャー）とは？

DataSalvager（以下、本ソフトウェアと呼びます）は、ファイルが破損・消失してしまった場合等、通常の操作で読み取れなくなってしまったファイルを検索・回収するためのソフトウェアです。
主に以下のような検出方法があります。

【1：デバイスまたはパーティション全体から ファイルを検出する≪スキャン機能≫】

ドライブまたはパーティション全体をスキャンして解析することでファイルを検出します。
検出方式には以下の3つのタイプがあります。またこれらの方式を自動で選択させることもできます。

①データベース方式

ファイルのデータベースを利用して、対応する拡張子のファイルを検出します。
ファイル名等を復元することや、データベースに無いファイルを検出することは出来ませんが、ファイルシステムに関係なく復元可能です。
※検出可能な対応拡張子については、30ページ【参考】参照。

②FAT 方式

FAT ファイルシステムの情報を利用してファイルを検出します。
ファイル名や日付、属性等の情報も復元すること可能です。
ただし、回収したいファイルを書き込んだ時のファイルシステムが、FAT ファイルシステムである必要があります。

以下のデバイスやメディアは FAT ファイルシステムでフォーマットされている事が多いため、FAT 方式での検出がお勧めです。

- ・フロッピーディスク
- ・MO ディスク
- ・USB フラッシュメモリー
- ・メモリカード（SD メモリカード/メモリスティック等）
- ・ハードディスク（主に外付タイプ）

③NTFS 方式

NTFS ファイルシステムの情報を利用してファイルを検出します。
ファイル名や日付、属性等の情報も復元すること可能です。
ただし、回収したいファイルを書き込んだ時のファイルシステムが、NTFS ファイルシステムである必要があります。（NTFS ファイルシステムは Windows Vista™/XP/2000 などでフォーマット可能なファイルシステムです。）

以下のデバイスやメディアは NTFS ファイルシステムでフォーマットされていることが多いため、NTFS 方式での検出がお勧めです。

・ハードディスク(主に内蔵タイプ)

【2：削除ファイルを検出する≪既存ファイルシステム解析機能≫】

既存ファイルシステムを解析し、ディレクトリの構成そのままで削除ファイルを検出することが出来ます。
ドライブ全体を解析する必要が無いため解析時間が短く、またファイル名や日付、属性等も復元することが可能です。
ただし、回収したいファイルを書き込んだ時のファイルシステムが、FAT ファイルシステムである必要があります。

ファイルを誤って削除したような場合に有効な方法です。

※対応ファイルシステムは FAT12、FAT16、FAT32 です。
※検出できるファイルの拡張子に制限はありません。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。
This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△ この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

⃠ この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

● この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本ソフトウェアを使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

⚠ 注意


注意

本ソフトウェアを使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。


禁止

本ソフトウェアは以下のような場所で保管･使用しないでください。

破損の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（CI_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所


禁止

以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本ソフトウェアの上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本ソフトウェアのそばで飲食･喫煙などをしない


注意

本ソフトウェアは、日本国内仕様です。

本ソフトウェアを日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

お使いになる前に

箱の中には……6
動作環境……7
対応デバイス……8
ご使用上の注意……9

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

☐にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

☐ DataSalvager 3.0(1 枚)[CD-ROM]　☐ Ver シール(1枚)



シリアル番号(S/N)が記載されています。

☑ DataSalvager 3.0 取扱説明書(1冊)[本書]

注意！

添付の CD-ROM は大切に保管してください。

添付の CD-ROM を紛失した場合の対応はいたしかねます。
あらかじめご了承ください。

参考

箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

ユーザー登録やダウンロードにはシリアル番号(S/N)が必要

▼ここに本製品に添付されている Ver シールを貼ってください。

Ver シールに記載してあるシリアル番号(S/N)は、ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードの際に必要です。

- **ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/**
- **ダウンロード　⇒http://www.iodata.jp/lib/**

動作環境

本ソフトウェアは以下の環境でお使いになれます。

対応機種	CD-ROMドライブを装備したDOS/Vマシン
対応OS※ （日本語版）	Windows Vista™（32bitのみ）/Windows XP（32bitのみ）/ Windows 2000 Professional
CPU	Pentium III 450MHz以上推奨
メモリ	128Mバイト以上推奨 （Windows Vista™の場合512Mバイト以上推奨）
ディスプレイ	1024×768ピクセル以上の解像度推奨
ハードディスク	インストールには20MB以上の空き容量が必要です。 （別途ファイルを回収するための空き容量が必要）

※ 管理者(Administrator)権限を持つユーザーでログインしている必要があります。

対応デバイス

本ソフトウェアで利用可能なデバイスは以下のとおりです。

ハードディスク/フロッピーディスクドライブ/MO ドライブ/
DVD・CD-ROM ドライブ/メモリーカードリーダー・ライター/
USB フラッシュメモリー等のリムーバブルデバイス



注意！

■回収したいファイルがあるデバイスとは別に、ファイルを保存するためのデバイスが必要です。

■データ領域の一部が傷ついたメディアの正常な領域のデータや、パケットライトフォーマット（B's Clip にて確認）された CD-R/RW、DVD±R/RW メディアで誤削除したデータの復旧が可能です。広範囲の傷や管理領域の傷があるもの、初期化やフォーマットしてしまった CD-RW/DVD±RW メディアからのデータの回収は行えません。

■セキュリティのための仕組みをもったデバイス/メディアには対応しておりません。

■ATAPI ドライブの接続に関する制限事項

Windows 標準の IDE ドライバ以外のドライバをインストールした環境では、Windows 上でドライブのスキャンができない場合があります。その場合は Windows 標準の IDE ドライバをご使用ください。

ご使用上の注意

本ソフトウェアをご利用になる前に、以下の注意事項を必ずお読みください。



注意！

■回収したいファイルがあるドライブに書き込み操作を行わないでください。
ファイルを正常に回収できる可能性が低くなってしまいます。
誤操作によるファイル消去やディスク破損が発生した場合、その状態を保持することで被害を最小限に食い止められます。

■本ソフトウェア使用時には、他アプリケーションを起動しないでください。
回収したいファイルのあるドライブへの書き込み操作をする可能性があります。また、エクスプローラを操作する、Windows を再起動する等の操作を行った場合にもドライブへの書き込みが発生する可能性があります。

■回収元ドライブと保存先ドライブは別の物理ドライブを選択してください。
回収元のデータを回収したファイルで上書きする可能性があります。
×・・・・回収元：リムーバブルディスク(D:¥) 保存先：D:¥
○・・・・回収元：リムーバブルディスク(D:¥) 保存先：C:¥

■消去した方法によってはファイルを検出できない場合があります。
誤操作によるファイル消去やドライブ消去を行ってしまった場合、その操作内容によってはファイルを検出できない場合があります。
・デジタルカメラのファイル消去やフォーマットは、メーカーや機種によって消去方法が異なるため、ファイルを検出できない場合があります。
・完全フォーマットやデータ消去ソフトによる完全消去を行った場合、ファイルを検出することはできません。

■本製品はドライブまたはメディアの破損を修復し、復旧させるものではありません。

■対応ではないドライブやそのメディアからのファイルの検出はできません。

■物理的に破損しているドライブまたはメディアからのファイルの検出はできません。破損したドライブに対して回収を試みた場合、予期せぬ現象が発生する可能性があります。

■ドライブまたはメディアの状態によってはファイルの検出はできません。
・書き込みに失敗した DVD/CD-R メディア等

■データベース方式でドライブをスキャンしファイルを検出する場合、対応拡張子ではないファイルを検出することはできません。
・DVD 規格における VR 形式のデータ等

■FAT 方式や NTFS 方式でファイルを検出する場合、対象のファイルシステム情報を持たないデバイスからのファイル検出はできません。
・FAT ファイルシステム情報をもつデバイスに対して NTFS 方式のファイルの検出を試みる等

■NTFS ファイルを回収する際、以下のファイルには対応しておりません。
・NTFS 暗号化ファイル
・NTFS 圧縮ファイル
※NTFS 圧縮ファイルとはファイルシステム上のファイル管理方法で、ZIP ファイル等の圧縮ファイルとは異なるものです。NTFS 暗号化ファイルについても同様です。

■回収元デバイスを接続し、Windows 上でデバイスの認識を確認してから本ソフトウェアを起動してください。本ソフトウェア起動後に回収元デバイスを接続した場合は、本ソフトウェアを起動しなおしてください。

使ってみよう

起動する ……12
起動方法を選択し、本ソフトウェアを起動します。

インストールしないで起動する……13
インストールして起動する……15

検索・回収する ……20
用途に合わせて検索方法を選択し、ファイルを検索・回収します。

簡単ファイル検索……22
マニュアル検索≪スキャン≫……28
マニュアル検索≪既存ファイルシステム解析≫……35

終了する ……40
本ソフトウェアを終了します。

起動する

本ソフトウェアを起動します。以下の2つの起動方法があります。

【インストールしないで起動する】……13ページ

Windows がインストールされているドライブからファイルを回収する場合に有効な方法です。

【インストールして起動する】……15ページ

Windows がインストールされているドライブ以外からファイルを回収する場合に有効な方法です。



注意！

■本ソフトウェア使用時には、他アプリケーションを起動しないでください。
他アプリケーションが、回収したいファイルのあるドライブへの書き込み操作をする可能性があります。
エクスプローラを操作する、Windows を再起動する等の操作を行った場合にもドライブへの書き込みが発生する可能性があります。

■Windows がインストールされているドライブのファイルを回収したい場合には、本ソフトウェアをインストールしないで起動することをお勧めします。

■回収元デバイスを接続し、Windows 上でデバイスの認識を確認してから本ソフトウェアを起動してください。本ソフトウェア起動後に回収元デバイスを接続した場合は、本ソフトウェアを起動しなおしてください。

インストールしないで起動する

本ソフトウェアをインストールしないで起動することができます。

注意！

■Windows をコンピュータの管理者のアカウント（Administrator 権限）でログオンしてください。

■パソコンの省電力機能やその他アプリケーションは全て無効/終了してください。

1 「DataSalvager 3.0」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

⇒自動的にCDメニューが表示されます。

参考①

自動的に CD メニューが表示されない場合は・・・

「DataSalvager 3.0」CD-ROM の中にある[AUTORUN]アイコンをダブルクリックしてください。

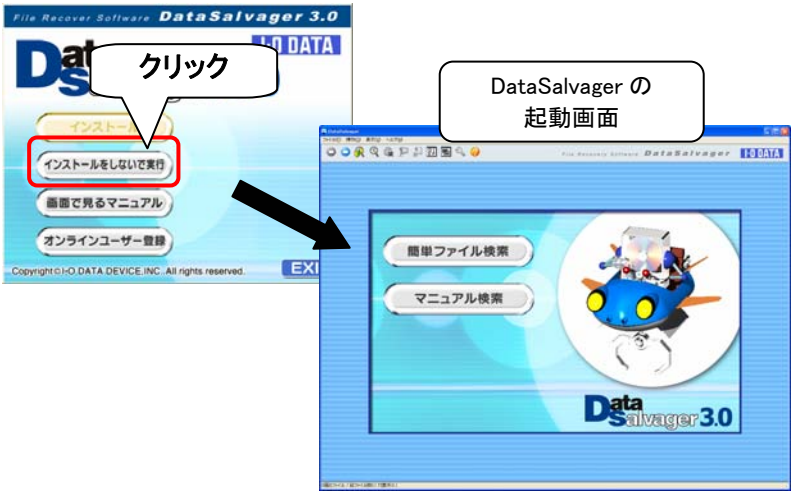
参考②

Windows Vista™では以下の画面が表示される場合があります

[続行]ボタンをクリックしてください。



2 [インストールをしないで実行]ボタンをクリックします。



本ソフトウェアが起動しました。
【検索・回収する】(20ページ)へお進みください。

インストールして起動する

本ソフトウェアをパソコンにインストールして、[スタート]メニューから起動することができます。

注意！

■Windows をコンピュータの管理者のアカウント（Administrator 権限）でログオンしてください。

■本ソフトウェアのインストール先ドライブは、回収したいファイルが存在しないドライブを選択してください。回収したいファイルが存在するドライブにインストールを実行すると、ファイルを回収できる可能性が非常に低くなります。

1 「DataSalvager 3.0」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

⇒自動的にCDメニューが表示されます。

参考①

自動的に CD メニューが表示されない場合は・・・

「DataSalvager 3.0」CD-ROM の中にある[AUTORUN]アイコンをダブルクリックしてください。

参考②

Windows Vista™では以下の画面が表示される場合があります

[続行]ボタンをクリックしてください。



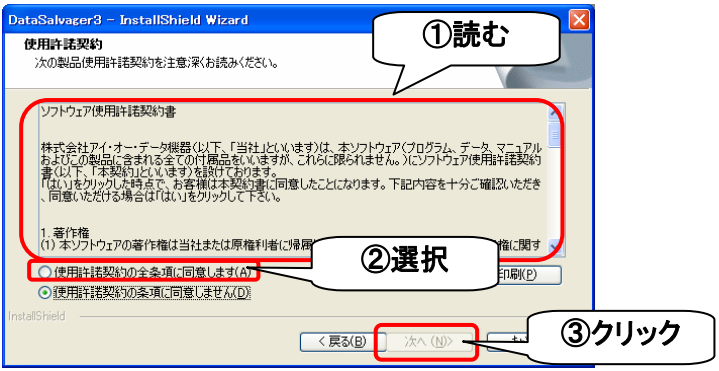
2 [インストール]ボタンをクリックします。



3 [次へ]ボタンをクリックします。



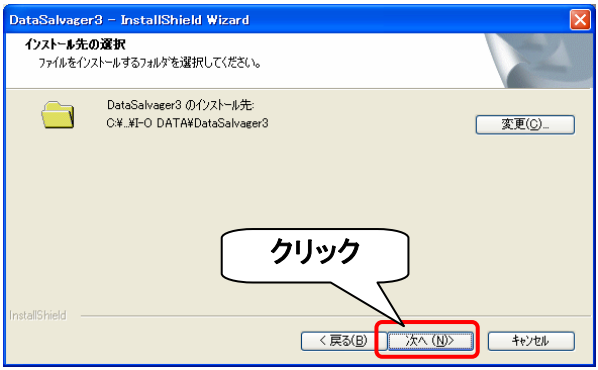
4 使用許諾契約をお読みください。同意する場合は、[はい]をクリックします。



注意！

使用許諾契約について
本ソフトウェアをインストールするには同意が必要です。

5 [次へ]ボタンをクリックします。



注意！

本ソフトウェアのインストール先ドライブは、回収したいファイルが存在しないドライブを選択してください。回収したいファイルが存在するドライブにインストールを実行すると、ファイルを回収できる可能性が非常に低くなります。

6 [次へ]ボタンをクリックします。

→インストールを開始します。



7 [完了]ボタンをクリックします。



8 [スタート]→[(すべての)プログラム]→[I-O DATA]→[DataSalvager]→[DataSalvager]の順にクリックし、起動します。

▼画面は Windows XP での例です。



参考

Windows Vista™では DataSalvager の起動画面が出る前にユーザーアカウント制御の画面が表示される場合があります。
[続行]ボタンをクリックしてください。



本ソフトウェアが起動しました。
【検索・回収する】(次ページ)へお進みください。

検索・回収する

ファイルを検索し、回収します。検索には以下の 3 つの方法があります。

【簡単ファイル検索】……22ページ

手順を追って検索します。ドライブ全体をスキャンして解析することでファイルを検出します。

以下のような場合には、こちらの方法がお勧めです。

・ディスクを誤ってフォーマットした場合

・エクスプローラからディスクが認識できなくなった場合

・【マニュアル検索≪既存ファイルシステム解析≫】でファイルが検出できなかった場合

【マニュアル検索≪スキャン≫】……28ページ

【簡単ファイル検索】を利用せず、ドライブまたはパーティション全体をスキャンして解析することでファイルを検出します。

以下のような場合には、こちらの方法がお勧めです。

・ディスクを誤ってフォーマットした場合

・エクスプローラからディスクが認識できなくなった場合

・【マニュアル検索≪既存ファイルシステム解析≫】でファイルが検出できなかった場合

【マニュアル検索≪既存ファイルシステム解析≫】……35ページ

既存ファイルシステムを解析し、ディレクトリの構成そのままで削除ファイルを検出することが出来ます。ドライブ全体を解析する必要が無く、エクスプローラ感覚でファイルを検索するため解析時間が短く、フォルダ構造を見ながら検索することができます。またファイル名や日付、属性等も復元することが可能です。ただし、回収したいファイルを書き込んだ時のファイルシステムが、FAT ファイルシステムである必要があります。

※対応ファイルシステムは FAT12、FAT16、FAT32 です。

※検出できるファイルの拡張子に制限はありません。

以下のような場合には、こちらの方法がお勧めです。

・最近、誤削除してしまったファイルを手早く回収したい場合

・【簡単ファイル検索】や【マニュアル検索≪既存ファイルシステム解析≫】でファイルが検出できなかった場合



注意！

本ソフトウェアの起動・使用時には、必ず9ページ【ご使用上の注意】もご覧ください。

- **回収したいファイルがあるドライブに書き込み操作を行わないでください。**
- **本ソフトウェア使用時には、他アプリケーションを起動しないでください。**
- **回収元ドライブと保存先ドライブは別の物理ドライブを選択してください。**
- **消去した方法によってはファイルを検出できない場合があります。**
- **本製品はドライブまたはメディアの破損を修復し、復旧させるものではありません。**
- **デバイスが対応していないメディアからのファイルの検出はできません。**
- **物理的に破損しているドライブまたはメディアからのファイルの検出はできません。**
- **ドライブまたはメディアの状態によってはスキャンできない場合があります。**

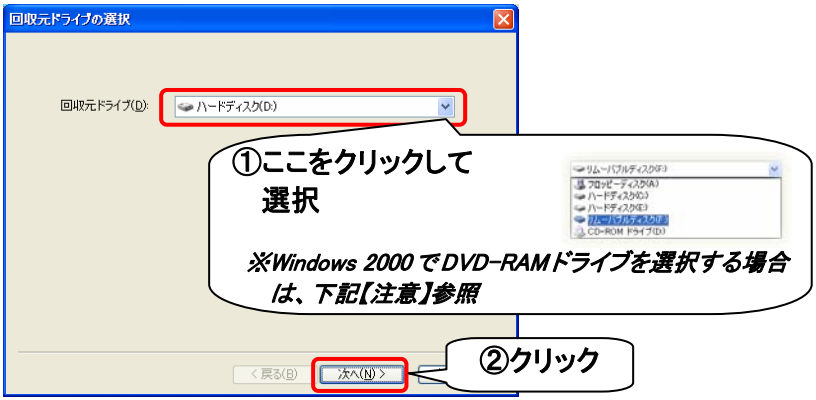
簡単ファイル検索

手順を追って検索します。ドライブ全体をスキャンして解析することでファイルを検出します。また、ファイルシステムを指定して、ドライブまたはパーティションのみをスキャンする設定もおこなえます。

1 起動画面の[簡単ファイル検索]ボタンをクリックします。



2 [回収元ドライブ]をクリックし、回収元のドライブを選択します。
[次へ]ボタンをクリックします。



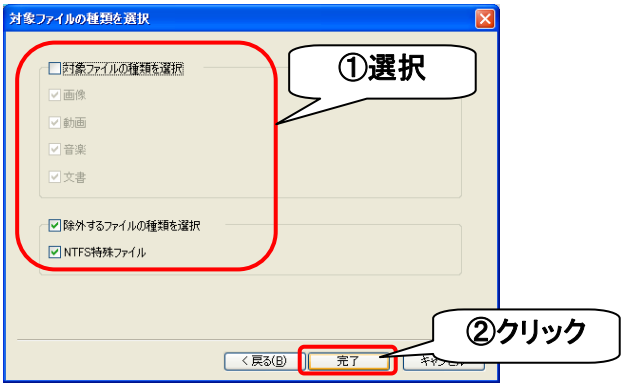
注意！

Windows 2000 で DVD-RAM を[回収元ドライブ]に選択する場合

DVD-RAM ドライブによっては、[回収元ドライブ]に[CD-ROM]という表示が2つ表示される場合があります。ドライブの選択を間違えないようご注意ください。

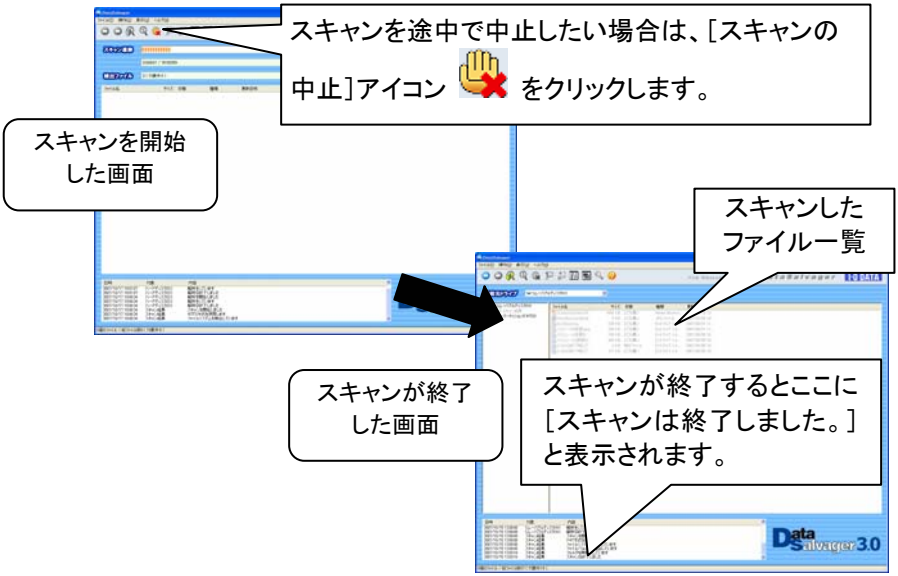
（例：DVD-RAM ドライブの場合・・・[CD-ROM]と[リムーバブルディスク]の2つのドライブが表示されます。）

3 検索するファイルの種類を選択し、[完了]ボタンをクリックします。→スキャンを開始します。



対象ファイルの種類を選択	以下に設定した種類のファイル、または対象ファイルに指定したファイルのみを表示/回収対象とします。
画像	画像ファイルを検索します。 （JPG、TIF、GIF、PNG、BMP 等）
動画	動画ファイルを検索します。 （MPG、AVI、MP3、RM、MOV 等）
音楽	音楽ファイルを検索します。 （RMI、MID、WAV、WMV 等）
文書	文書ファイルを検索します。 （TXT、HTM、RTF、PDF、PPT、DOC、XLS、ZIP 等）
除外するファイルの種類を選択	除外ファイルに指定したファイルを除いて表示/回収します。
NTFS 特殊ファイル	NTFS 特殊ファイルを除外します。

4 スキャン結果が表示されます。

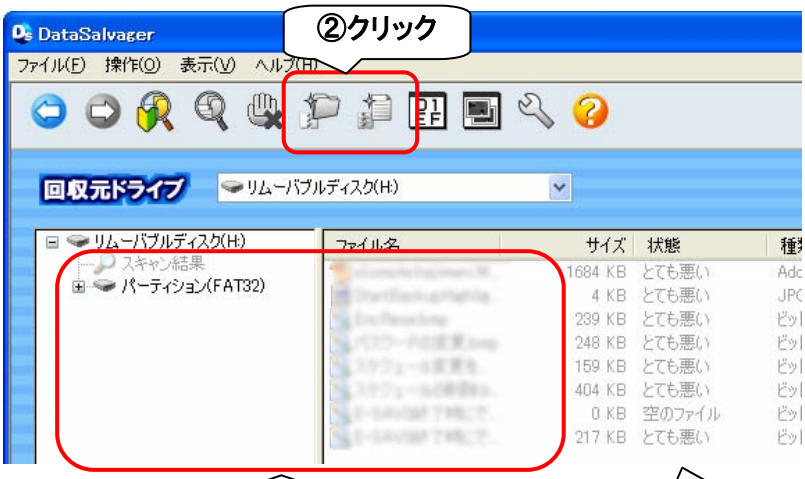


参考

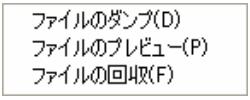
ドライブのスキャンに要する時間は環境、メディア(ドライブ)容量、デバイスの接続方式等によって異なります。以下は目安時間です。

・フラッシュメモリ(256MB、USB 2.0 カードリーダー接続)・・・約 2～3 分

5 回収したいファイルまたはフォルダを探します。
ファイルまたはフォルダ名をクリックし（複数選択可）、「ファイルの回収」アイコン または「フォルダの回収」アイコン をクリックします。



①ファイルまたはフォルダを選択
（右クリックメニューから「ファイルの回収」または「フォルダの回収」を実行することもできます。）



ここにファイルの状態が表示されます。
（次ページ[参考①]参照）



参考①

ファイルの[状態]によっては正常に復元できない場合があります。

ファイルの[状態]	概要
空のファイル	ファイルの中身が空のもの。空のファイルとして正常に復元できます。
とても良い	ファイルは削除されておらず断片化情報も残っており、正常に復元できる可能性がとても高いものです。
良い	削除されているが断片化情報が残っており、別のデータで上書きされていなければ、正常に復元できる可能性が高いものです。
やや悪い	削除されていないが断片化情報が残っていない状態。断片化していないファイルであれば正常に復元できる可能性があるものです。
悪い	削除されており断片化情報も残っていない状態。断片化しておらず、別のデータで上書きされていなければ、正常に復元できる可能性があるものです。
とても悪い	削除されており断片化情報も残っていない状態。また、ファイルの長さとデータの長さが一致していないため、断片化しているかデータが上書きされている可能性が高く、正常に復元できる可能性が低いものです。
NTFS ファイル	NTFSファイルシステム上のファイルで、断片化情報が残っている状態。別のデータで上書きされていなければ、正常に復元できる可能性が高いものです。



参考②

[プレビュー]アイコンをクリックすると、選択されたファイルのプレビューを確認できます。

※プレビュー可能なファイルの拡張子は以下のとおりです。

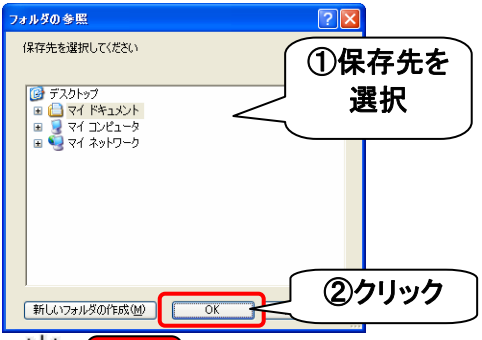
TXT、HTM(テキスト表示のみ)、RTF、JPG、TIF、GIF、PNG、DOC(テキスト抜き出し)、BMP、MP3(タグ情報のみ)



参考③

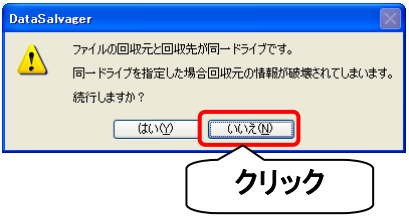
[ダンプ]アイコンをクリックすると、選択されたファイルのダンプ内容を確認できます。

6 ファイルの保存先を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

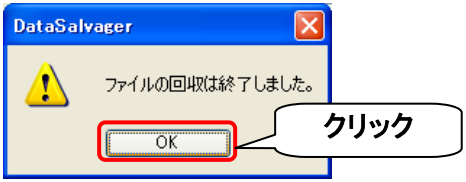




ファイルの保存先を回収元と同じデバイスにすると、右のメッセージが表示されます。
[いいえ]を選択し、ファイルの保存先は回収元と別のデバイスを選択してください。
[はい]を選択して回収を続行した場合、ファイルを正常に回収できる可能性が非常に低くなります。



7 [OK]ボタンをクリックします。



以上で[簡単ファイル検索]によるファイルの回収は終了です。

マニュアル検索≪スキャン≫

【簡単ファイル検索】を利用せず、ドライブまたはパーティション全体をスキャンして解析することでファイルを検出します。

1 起動画面の[マニュアル検索]ボタンをクリックします。

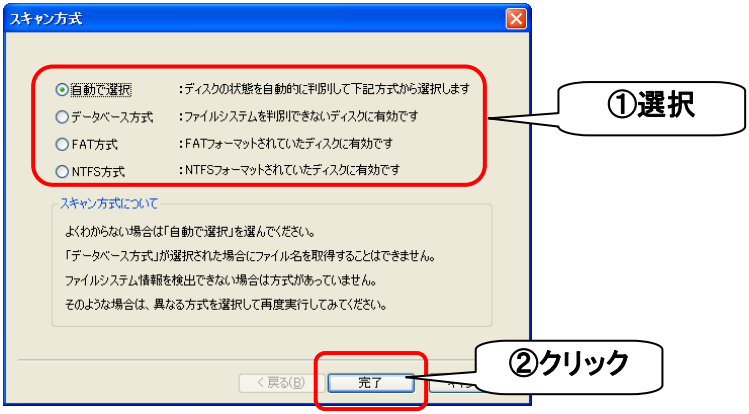


2 ①[回収元ドライブ]で回収元のドライブを選択します。
②「ドライブ」をダブルクリックします。
③「スキャン結果」をクリックします。
④「スキャンの開始」アイコンをクリックします。



3 スキャン方式を選択し、[完了]をクリックします。

→スキャンを開始します。



自動で選択	スキャン方式をデータベース方式/FAT 方式/NTFS 方式から自動的に選択します。 *※ファイル名やファイルの日付、属性等ファイルシステムが持つ情報を復元できない場合があります。* *※設定で[更新日時]の設定をおこなっても無効となる場合があります。*
データベース方式	ファイルのデータベースを利用して、対応する拡張子のファイルを検出します。ファイル名等を復元することや、データベースに無いファイルを検出することは出来ませんが、ファイルシステムに関係なく復元可能です。 *※ファイル名やファイルの日付、属性等ファイルシステムが持つ情報は復元できません。* *※検出可能な拡張子については、次ページ【参考】参照。* *※設定で[更新日時]の設定をおこなっても無効となります。*
FAT 方式	FAT ファイルシステムの情報を利用してファイルを検出します。ファイル名や日付、属性等の情報も復元すること可能です。ただし、回収したいファイルを書き込んだ時のファイルシステムが、FAT ファイルシステムである必要があります。
NTFS 方式	NTFS ファイルシステムの情報を利用してファイルを検出します。ファイル名や日付、属性等の情報も復元すること可能です。ただし、回収したいファイルを書き込んだ時のファイルシステムが、NTFS ファイルシステムである必要があります。



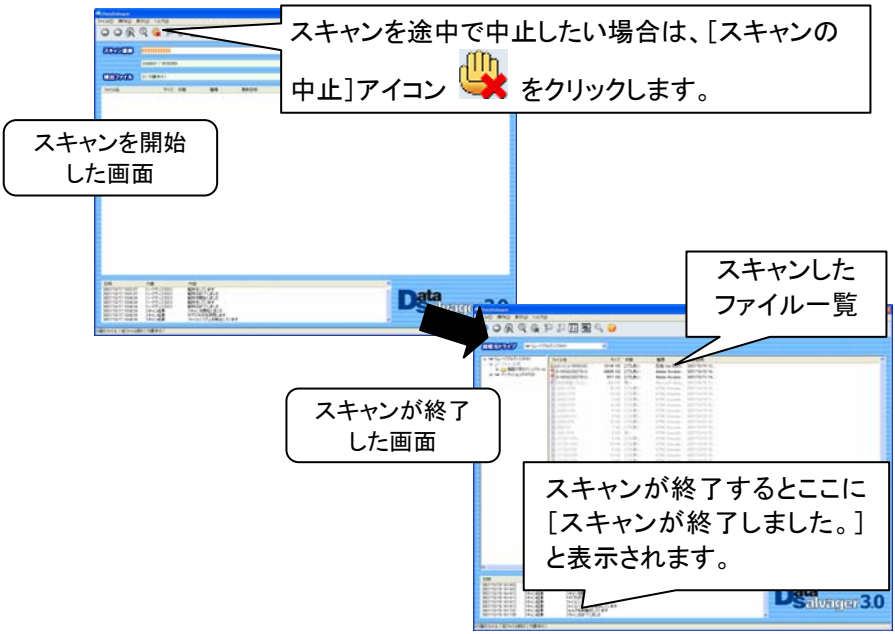
参考

「データベース方式」を選択した際に、検出可能なファイルの拡張子は以下のとおりです。

※対応拡張子であっても検出されない場合があります。
※元のファイル名と異なるファイル名で検出される場合があります。
※元の拡張子と異なる拡張子で検出される場合があります。

拡張子	属性
txt	テキストファイル
htm	テキストファイル
rtf	リッチテキストファイル
pdf	ドキュメントファイル
mpg	圧縮動画ファイル
jpg	圧縮画像ファイル
tif	画像ファイル
gif	圧縮画像ファイル
png	圧縮画像ファイル
ppt	パワーポイントファイル
doc	ドキュメントファイル
xls	エクセルファイル
avi	動画ファイル
rmi	ミディファイル
mid	ミディファイル
wav	オーディオファイル
bmp	画像ファイル
mp3	圧縮オーディオファイル
zip	圧縮ファイル
rm	動画ファイル
wmv	圧縮オーディオファイル
mov	動画ファイル
au	オーディオファイル
aif	オーディオファイル

4 スキャン結果が表示されます。

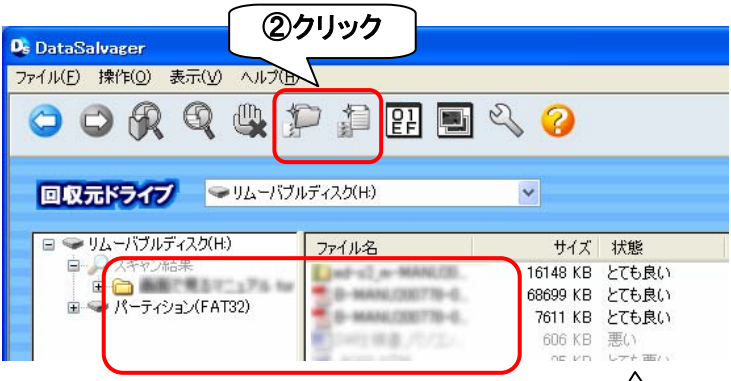


参考

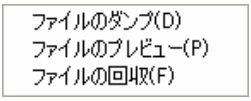
ドライブのスキャンに要する時間は環境、メディア(ドライブ)容量、デバイスの接続方式等によって異なります。以下は目安時間です。

・フラッシュメモリ(256MB、USB 2.0 カードリーダー接続)・・・約 2～3 分

5 回収したいファイルまたはフォルダを探します。
ファイルまたはフォルダ名をクリックし（複数選択可）、「ファイルの回収」アイコン または「フォルダの回収」アイコン をクリックします。



①ファイルまたはフォルダを選択
（右クリックメニューから「ファイルの回収」または「フォルダの回収」を実行することもできます。）



ここにファイルの状態が表示されます。
（次ページ[参考①]参照）

参考①

ファイルの[状態]によっては正常に復元できない場合があります。

ファイルの[状態]	概要
空のファイル	ファイルの中身が空のもの。空のファイルとして正常に復元できます。
とても良い	ファイルは削除されておらず断片化情報も残っており、正常に復元できる可能性がとても高いものです。
良い	削除されているが断片化情報が残っており、別のデータで上書きされていなければ、正常に復元できる可能性が高いものです。
やや悪い	削除されていないが断片化情報が残っていない状態。断片化していないファイルであれば正常に復元できる可能性があるものです。
悪い	削除されており断片化情報も残っていない状態。断片化しておらず、別のデータで上書きされていなければ、正常に復元できる可能性があるものです。
とても悪い	削除されており断片化情報も残っていない状態。また、ファイルの長さとデータの長さが一致していないため、断片化しているかデータが上書きされている可能性が高く、正常に復元できる可能性が低いものです。
NTFS ファイル	NTFSファイルシステム上のファイルで、断片化情報が残っている状態。別のデータで上書きされていなければ、正常に復元できる可能性が高いものです。

参考②

[プレビュー]アイコンをクリックすると、選択されたファイルのプレビューを確認できます。

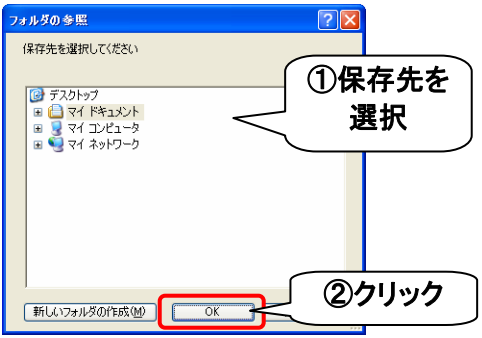
※プレビュー可能なファイルの拡張子は以下のとおりです。

TXT、HTM(テキスト表示のみ)、RTF、JPG、TIF、GIF、PNG、DOC(テキスト抜き出し)、BMP、MP3(タグ情報のみ)

参考③

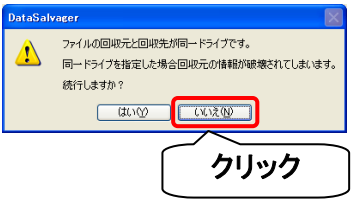
[ダンプ]アイコンをクリックすると、選択されたファイルのダンプ内容を確認できます。

6 ファイルの保存先を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

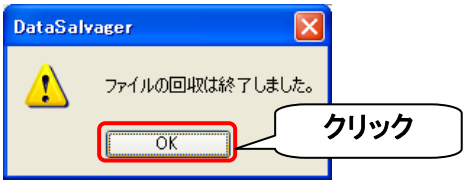


注意！

ファイルの保存先を回収元と同じデバイスにすると、右のメッセージが表示されます。
[いいえ]を選択し、ファイルの保存先は回収元と別のデバイスを選択してください。
[はい]を選択して回収を続行した場合、ファイルを正常に回収できる可能性が非常に低くなります。



7 [OK]ボタンをクリックします。



以上で[マニュアル検索≪スキャン≫]によるファイルの回収は終了です。

マニュアル検索≪既存ファイルシステム解析≫

既存ファイルシステムを解析し、ディレクトリの構成そのままで削除ファイルを検出することが出来ます。ドライブ全体を解析する必要が無く、エクスプローラ感覚でファイルを検索するため解析時間が短く、フォルダ構造を見ながら検索することができます。またファイル名や日付、属性等も復元することが可能です。ただし、回収したいファイルを書き込んだ時のファイルシステムが、FAT ファイルシステムである必要があります。

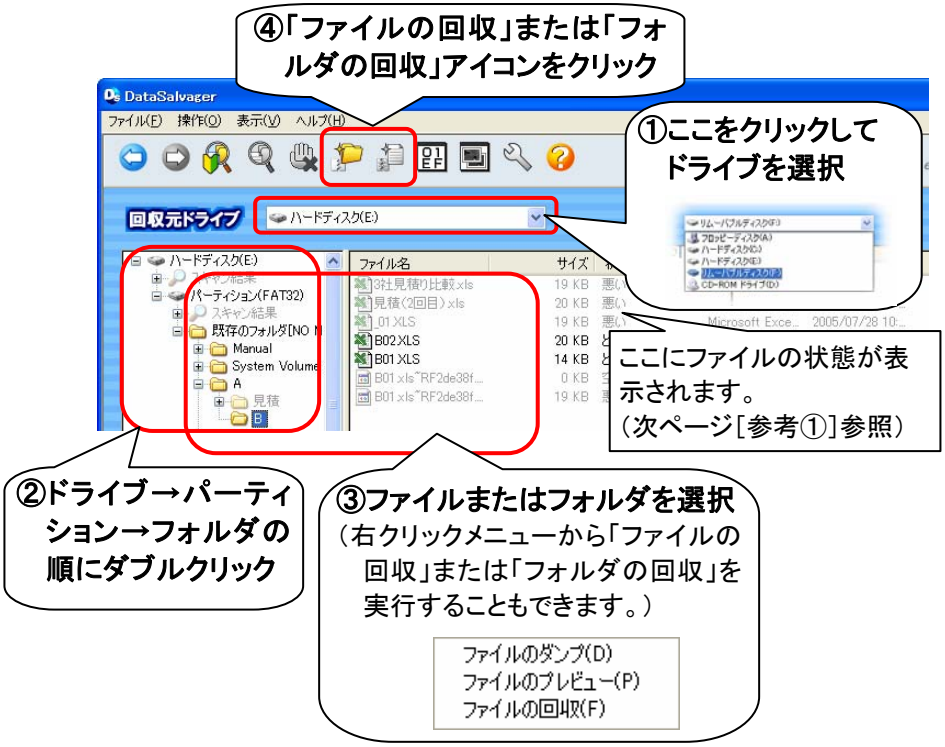
※対応ファイルシステムは FAT12、FAT16、FAT32 です。

※検出できるファイルの拡張子に制限はありません。

1 起動画面の[マニュアル検索]ボタンをクリックします。



2 ①[回収元ドライブ]で回収元のドライブを選択します。
②「ドライブ」→「パーティション」→「フォルダ」の順にダブルクリックします。
③ファイルまたはフォルダを選択します。(複数選択可)
④「ファイルの回収」アイコンまたは「フォルダの回収」アイコンをクリックします。





注意！

Windows 2000 で DVD-RAM を[回収元ドライブ]に選択する場合

DVD-RAM ドライブなどによっては、[回収元ドライブ]に[CD-ROM]という表示が2つ表示される場合があります。ドライブの選択を間違えないようご注意ください。

（例：DVD-RAM ドライブの場合･･･[CD-ROM]と[リムーバブルディスク]の2つのドライブが表示されます。）



参考①

ファイルの[状態]によっては正常に復元できない場合があります。

ファイルの[状態]	概要
空のファイル	ファイルの中身が空のもの。空のファイルとして　正常に復元できます。
とても良い	ファイルは削除されておらず断片化情報も残っており、正常に復元できる可能性がとても高いものです。
良い	削除されているが断片化情報が残っており、別のデータで上書きされていなければ、正常に復元できる可能性が高いものです。
やや悪い	削除されていないが断片化情報が残っていない状態。断片化していないファイルであれば正常に復元できる可能性があるものです。
悪い	削除されており断片化情報も残っていない状態。断片化しておらず、別のデータで上書きされていなければ、正常に復元できる可能性があるものです。
とても悪い	削除されており断片化情報も残っていない状態。また、ファイルの長さとデータの長さが一致していないため、断片化しているかデータが上書きされている可能性が高く、正常に復元できる可能性が低いものです。
NTFS ファイル	NTFSファイルシステム上のファイルで、断片化情報が残っている状態。別のデータで上書きされていなければ、正常に復元できる可能性が高いものです。



参考②

[設定]アイコン  からファイルの表示設定がおこなえます。
必要なファイルを絞り込みたい場合や、検出されたファイルの数が多すぎる場合に設定してください。
（詳しくは43ページ[設定について]参照）





参考③

[プレビュー]アイコンをクリックすると、選択されたファイルのプレビューを確認できます。

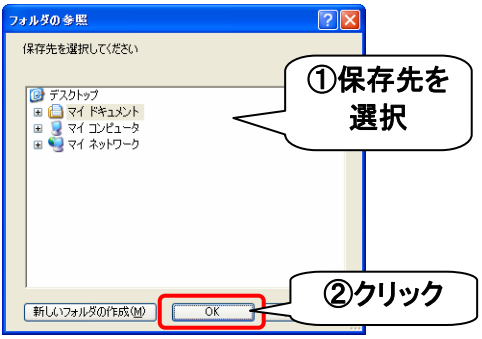
※プレビュー可能なファイルの拡張子は以下のとおりです。
TXT、HTM（テキスト表示のみ）、RTF、JPG、TIF、GIF、PNG、DOC（テキスト抜き出し）、BMP、MP3（タグ情報のみ）



参考④

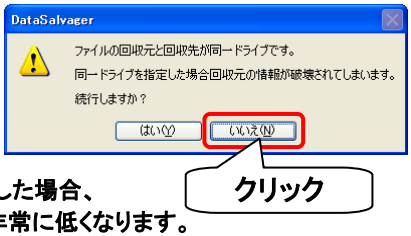
[ダンプ]アイコンをクリックすると、選択されたファイルのダンプ内容を確認できます。

3 ファイルの保存先を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

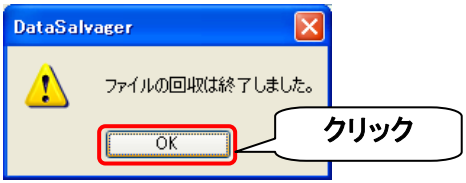


注意！

ファイルの保存先を回収元と同じデバイスにすると、右のメッセージが表示されます。
[いいえ]を選択し、ファイルの保存先は回収元と別のデバイスを選択してください。[はい]を選択して回収を続行した場合、ファイルを正常に回収できる可能性が非常に低くなります。



4 [OK]ボタンをクリックします。

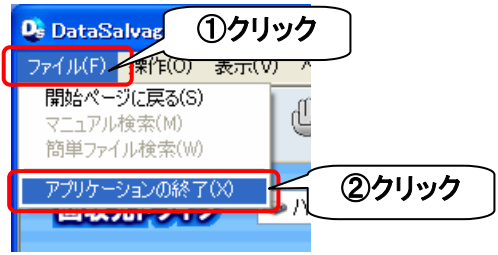


以上で[マニュアル検索≪既存ファイルシステム≫]によるファイルの回収は終了です。

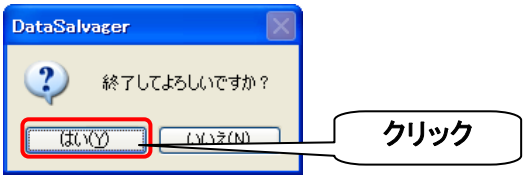
終了する

本ソフトウェアを終了する手順を説明します。

1 [ファイル]メニュー→[アプリケーションの終了]の順にクリック、または ボタンをクリックします。



2 [はい]ボタンをクリックします。



以上で本ソフトウェアは終了しました。

ふろく

ツールバーについて……42
設定について……43
DataSalvager の削除……46
困ったときには……47

ツールバーについて

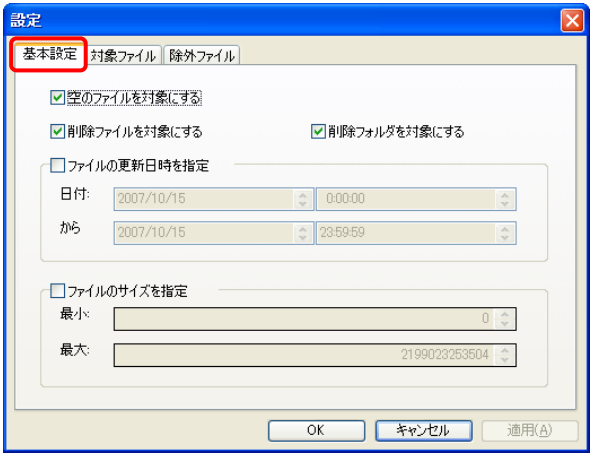
本ソフトウェアでよく使用されるコマンドがツールバーにアイコンで表示されます。現在使用できるアイコンはカラーで、使用できないアイコンはグレーで表示されます。

	開始ページに戻る	開始ページに戻ります。
	マニュアル検索へ	簡単ファイル検索を利用せず手動で検索します。
	簡単ファイル検索	手順を追ってファイルを検索します。
	スキャンの開始	スキャンを開始します。
	スキャンの中止	実行中のスキャンを中止します。
	フォルダの回収	選択されたフォルダを回収します。
	ファイルの回収	選択されたファイルを回収します。
	ファイルのダンプ	選択されたファイルのダンプをします。
	ファイルのプレビュー	選択されたファイルのプレビューを表示します。
	設定	ファイルの表示条件等を設定します。
	ヘルプ	本ソフトウェアのヘルプウィンドウを表示します。

設定について

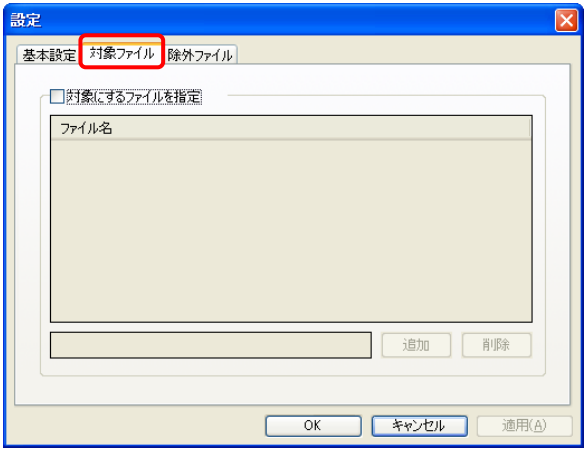
設定アイコン  からファイルの表示条件を設定することができます。必要なファイルを絞り込みたい場合や、検出されたファイルの数が多すぎる場合に設定してください。

◎基本設定



空のファイルを対象にする	ファイルの中身が空のものも表示対象とします。
削除ファイルを対象にする	削除されたファイルも表示対象とします。
削除フォルダを対象にする	削除されたフォルダも表示対象とします。
ファイルの更新日時を指定	指定したファイルの更新日時の範囲に該当するファイルを表示対象とします。
ファイルのサイズを指定	指定したファイルサイズの範囲に該当するファイルを表示対象とします。 （最初：0バイト ／ 最大：2,199,023,253,504バイト）

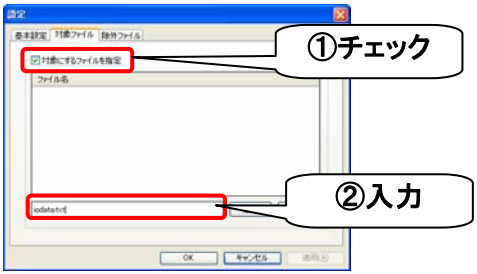
◎対象ファイル



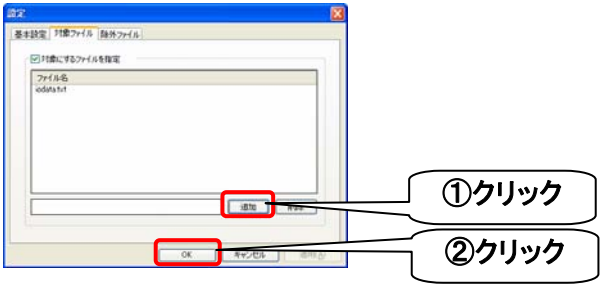
対象にするファイルを指定	設定したファイル名のみ表示対象とします。

▽設定手順

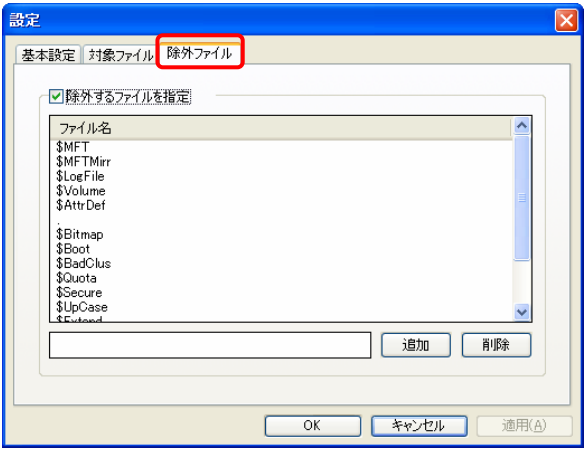
1 [対象にするファイルを指定]にチェックし、対象にするファイル名を入力します。



2 [追加]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックします。



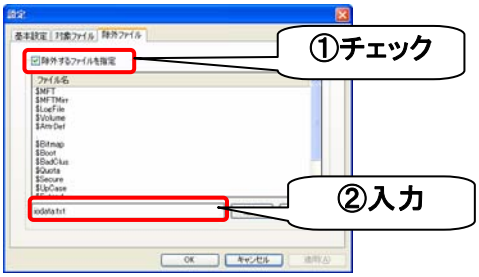
◎除外ファイル



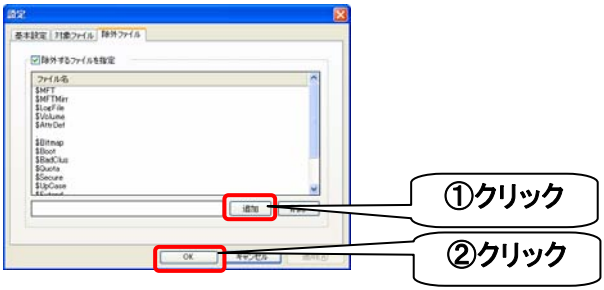
除外するファイルを指定	設定したファイル名を表示対象から外します。

▽設定手順

1 [除外するファイルを指定]にチェックし、表示から除外するファイル名を入力します。



2 [追加]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックします。



DataSalvager の削除

インストールした DataSalvager の削除方法について説明します。

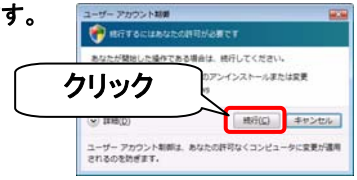
1 [スタート]→([設定]→)[コントロールパネル]の順にクリックし、[コントロールパネル]を開きます。

2 ・Windows Vista™の場合
　[プログラムのアンインストール]をクリックします。
・Windows XPの場合
　[プログラムの追加と削除]をクリックします。
・Windows 2000の場合
　[アプリケーションの追加と削除]アイコンをダブルクリックします。

3 ・Windows Vista™の場合
　[DataSalvager]をクリックし、[アンインストールと変更]をクリックします。
・Windows XP/2000の場合
　[DataSalvager]をクリックし、[削除](または[変更/削除])ボタンをクリックします。

参考

Windows Vista™では右の画面が表示されます。
[続行]ボタンをクリックしてください。



4 [OK]ボタンをクリックします。

5 [完了]ボタンをクリックします。

以上で、インストールした DataSalvager の削除は完了です。

困ったときには

目的のドライブが表示されない

原因①	対応デバイスではない可能性があります。
対処	対応デバイスについては[対応デバイス]（8ページ）にてご確認ください。

原因②	本ソフトウェア起動後に回収元デバイスをパソコンに接続した。
対処	本ソフトウェア起動後に装着したデバイスは回収元デバイスとして認識されません。本ソフトウェアを一旦終了し、起動しなおしてください。

ディレクトリツリーが開けない

原因	以下のような可能性があります。 ・パーティション情報が破壊されている ・ファイルシステムが破壊されている ・非対応のファイルシステムでフォーマットされている （対応ファイルシステムはFAT12、FAT16、FAT32です。） ・既存のファイルシステムが再フォーマットされている
対処	このような場合でもドライブのスキャンを行うとファイルのいくつかを復元することが可能です。 [マニュアル検索≪スキャン≫]（28ページ）の手順で、ドライブをスキャンしてから、ファイルの回収を行ってください。

目的ファイルのファイル名がない

原因	スキャン方式に「データベース方式」を選択しファイルを検出した場合、ファイル名は復元できません。
対処	スキャン方式に「FAT方式」や「NTFS方式」を選択しファイルを検出するか、[マニュアル検索≪既存ファイルシステム解析≫]（35ページ）の手順で、ドライブをスキャンせずに、ファイルの検出をおこなってみてください。

未知のファイルが検出された

原因	ドライブのスキャンをおこなった場合、未知のファイルを検出することがあります。これは実行ファイルに埋め込まれたBMPファイルや、TXTファイルでないファイルの中に存在するテキスト部等をファイルとして検出するためです。

目的のファイルが検出されない

原因	ファイルを検出するために必要な情報が足らない場合、目的のファイルを検出できないことがあります。
対処	実行した検出方法と異なる方法を行うことで検出できる場合があります。試していない検索方法でファイルの検索をお試しください。

ファイルが一つも検出されない

原因	DiskRefresher等の完全消去ソフトで消去されたメディアからは、ファイルを検出することはできません。

検出されたファイルのサイズが違う

原因	本ソフトウェアはファイルの完全な回収を行うものではありません。 元のファイルと異なったサイズで回収される場合があります。

回収したファイルが壊れている

原因	本ソフトウェアはファイルの完全な回収を行うものではありません。元のファイルがあった場所に別のファイルが上書きされている場合や、ディスク上に散らばってデータが書かれているようなファイルの場合壊れたファイルとして回収される場合があります。

検出したファイルの全てが表示されない

原因	ファイルの一覧には32767個以上のファイルを表示することはできません。
対処	[設定]アイコンをクリックし、表示するファイルの絞込みを行ってください。

ファイルの回収に失敗した

原因	検出されたファイルの全てが回収に成功するとは限りません。
対処	回収に失敗した理由としては以下のようなものがあります。 ・回収しているファイルの情報が壊れている ・保存先ドライブに空き容量が無い ・保存先ディレクトリに保存されているファイル数が多すぎる

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

本書【困ったときには】で解決できない場合は、サポート Web ページもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例などが紹介されていますのでご参考ください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
News など

本ソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新ソフト

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3367** 東京…**03-3254-0340**
※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSと本ソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft, Windows,Windows Vista™は、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

DataSalvager 3.0取扱説明書　2007.10.31

発 行　株式会社アイ･オー･データ機器

〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

Copyright © 2007 I-O DATA DEVICE,INC. All Rights Reserved.